

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



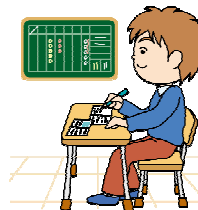
KAWASAKI CITY

平成26年12月8日（月）～平成26年12月14日（日）〔平成26年第50週〕の感染症発生状況

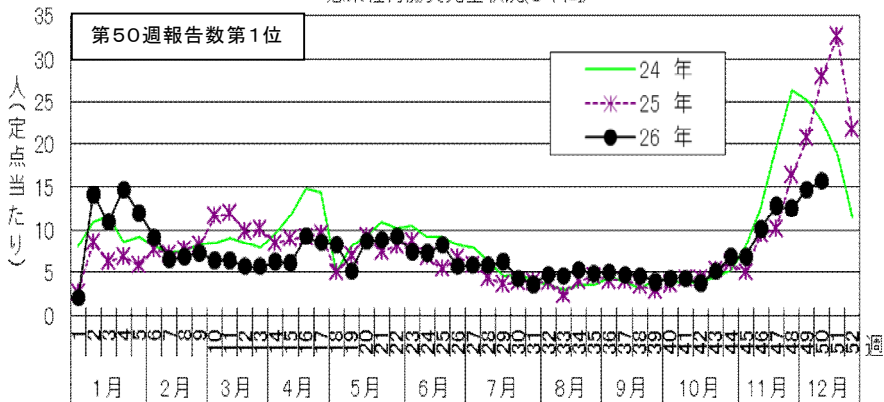
第50週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は15.73人と前週（14.73）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

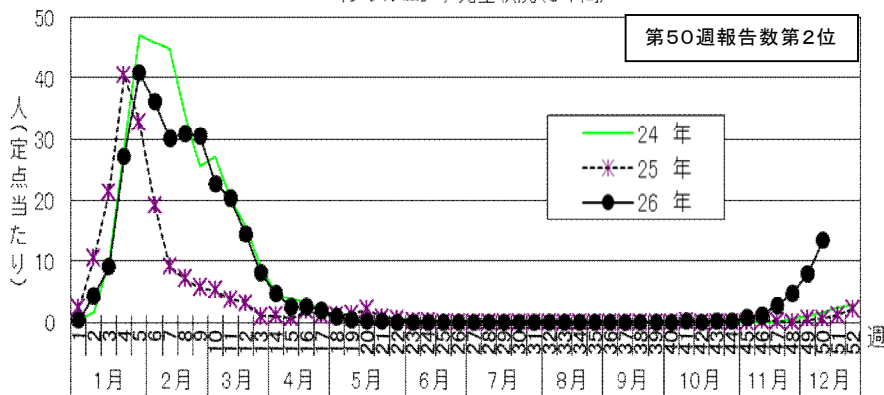
インフルエンザの定点当たり患者報告数は13.37人と前週（7.85）から増加し、基準値（定点当たり10人）を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



## インフルエンザ流行発生注意報発令！！

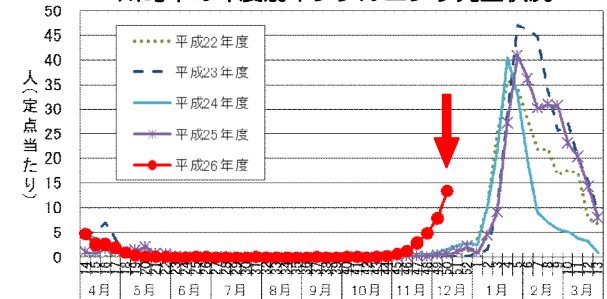
川崎市において、第50週のインフルエンザ患者報告数が定点当たり13.37人となり、基準値（定点当たり10人）を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。

例年の動向をみると、今後さらに患者報告数が増えることが予測されますので、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）等を徹底しましょう。



年齢別報告数では、小学生に相当するお子さんの割合が多く、学級閉鎖等も小学校を中心に報告されています。学校などの集団生活の場では感染がひろがりやすいため、特に日頃からの予防対策が重要です。

川崎市の年度別インフルエンザ発生状況



川崎市内の学校等における学級閉鎖等実施状況  
※第51週は12月16日分までの暫定値

